

出雲更生保護女性会だより



今年度は役員改選の年！

『令和2年度出雲更生保護女性会役員決定！』

今年度は役員改選の年で、次のように決まりました。

- 顧問：鐘築章恵・加藤澄子
会長：嘉藤馥美
副会長：佐藤道子・安喰公美
監事：森脇絹代・吉川京子
事務局：園山京子・加藤澄子



2年間よろしくお願いいたします！（任期2年）



各地区理事さん方です！

「会長挨拶」 心をつなぐ


コロナ禍の中で会長のバトンを受け、よちよち歩行でのスタートでした。皆様には大変ご心配をおかけしていることと思います。社会の要請に考慮して私たち更女も4月の総会をはじめ諸活動を控えて対応しています。

私達の柱ともいふべき7月の「愛の募金」活動も自粛いたしました。毎年7月の「社会を明るくする運動強調月間」に戸別訪問による活動ですが、会員の皆様と訪問先の皆様の健康被害に対する不安と安全に考慮した結果でした。

60年近くに亘り、「安心して安全な街で心豊かに暮らしてゆくこと」を願い続けてこられた諸先輩の皆様の思いを絶やさないう、今もう一度かみしめ、受け止め心合わせをして、しっかりと手をつなぎ進みたいと思います。

自然の世界は何も影響されずいつもの季節に咲く花は、当たり前のように咲いています。今は盂蘭盆です。手を合わす向こうに秋の空が澄み渡っています。


神門地区 嘉藤 馥美



「副会長挨拶」 思いは一つ！心ひろげ 笑顔あふれる社会に

今春の「新型コロナウイルス感染」の発生・拡大、さらには非常事態宣言発令の中、出雲更生保護女性会でも総会の中止をはじめ、様々な活動の中止や変更を余儀なくされました。その中でも「愛の募金」活動の自粛には心が痛みましたが、理事会において『会員以外の募金は中止とし、会員からの募金をお願いする』ことになり安堵しました。また、『愛の図書を心待ちにしている園もある。せめて自分たちでできることをしたい。』というご意見もあり胸が熱くなりました。金額の多寡よりも一人一人の思いを尊く感じました。この他、これを機会に更女の役割や今後の活動等について話し合われた地区もあったように聞きました。私たちの活動は決して華々しいものではありません。今年度、様々な活動が中止になったことは残念ですが、会員一人一人の温かい心や行いが地域の人と人の心を繋ぎ、互いが係わり合いながら安心して暮らせる社会になると信じています。お互い元気で、また一緒に活動できることを願っています。

大津地区 佐藤道子



「副会長挨拶」 愛！心！絆！

新型コロナウイルス感染拡大防止の中で始まった令和2年度！今まで例を見ない事態に直面し、不安な日々を半年過ごしてきました。その中に於いて、出雲更生保護女性会の理事会では、皆さんの心温まる意見により、今できることを精一杯しよう！と動き出しました。人それぞれの経験を基に試行錯誤し、人を思いやる心が伝わってきました。

更生保護女性会綱領から、「私たちは知識を求め自己研鑽に励むとともにあたたかな人間愛をもって明るい社会づくりのために行動します。」とあります。まさにそのいったん担っていると思いますし、担わねばならないと思いました。仲間がいるからこそできることがたくさんあります。できないと一言でかたづけしないで、できることを考え抜いて仲間と一緒に行動すると力が大きく加わり、思うことができること確信しました。仲間がいることのありがたさを身をもって感じています。今後ともよろしくお願いいたします。

乙立地区 安喰公美

新入会員の紹介

今年度は、総会ができなかったため新しく会員になられた方々をこのたよりで紹介します。



四絡は、高齢者福祉施設で抹茶サービスの慰問活動を行っています。入所者の方が「おいしいわ。」と言って喜んでくださり、やりがいを感じています。でも、この活動と「更生」とはどんな関係があるのだろうかという疑問が頭の片隅にありました。先日いただいた冊子を読み、地域活動すべてにかかわることがわかりました。視野を広げ、教えてもらいながら活動していこうと思いますのでよろしく願いいたします。

四絡地区 田村節子

このたび、大津地区に入会しました。冊子をいただき、様々な活動内容を知りました。更生保護女性会の趣旨に賛同し、微力ではありますが地域の為に皆様とともに頑張りたいと思います。よろしく願いいたします。

大津地区 米原和子



地域の方からのお声掛けで入会させていただきました。これまで当女性会についてはほとんど認識がなかったのですが、会のあゆみ等を知り、微力ながら活動のお手伝いできましたらと思っています。よろしく願いいたします。

稗原地区 児玉宏子

今まで、「愛の募金」への心ばかりの協力をさせていただいておりましたが、その他の活動については殆ど知らずにいました。

このたびの入会で、皆様とともに少しでもお役に立てる活動をしていきたいと思っています。どうぞよろしく願いいたします。

古志地区 横木礼子



入会ありがとうございます。この近年、出雲更生保護女性会のメンバー数はだいたい横ばいです。以前はより多くの方が活動に賛同し行動しておられたようですが、ここにも高齢化の波が押し寄せてきています。

今後、社会の手助けになるように、皆様と一緒に活動をしていきたいと思っています。よろしく願いいたします。



今年度は総会を見送り！
6月理事会で初顔合わせ！



『令和2年度出雲更生保護女性会理事会開催』

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、苦肉の策で出雲更生保護女性会総会
会は中止し、理事総会という形で4月23日に予定しましたがそれも開催できず、6
月25日の理事会にやっと顔を合わせることができました。愛の募金活動の件もあります
ので、理事会の様子をお知らせします。各地区で報告があったかと思いますが…

理 事 会 報 告

令和2年6月25日

- 1 募金活動について 今年度に限り
 - ① 会員のみ一口1000円として何口でもよい 会員131名
 - ② 7月上旬に寄付金の領収書を理事に配布する
 - ③ 9～10月に集金をする
 - ④ 保育園、幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校には愛の図書贈呈を見
合わせる
 - ⑤ 金銭を伴わない活動を各地区にできるやり方で考えて行う
- 2 文書配布について
 - ① 出雲更女の今年度のコロナ禍の中での方針を文書として全会員に配布
 - ② 上記1-①について、ここに至った経緯、出雲更女としての思い等を
文書にして会員全員に7月上旬に配布する（地区理事経由）
 - ③ 愛の図書を今年度は見合わせることを保育園、幼稚園、小学校、中学
校、特別支援学校に通知する 7月に配布
 - ④ 募金をしてもらっている事業所、コミセン職員にも同様
- 3 各地区集会助成金変更について

各地区へ5000円を均等に渡していたが、今年度は中止し、
人数×1000円のみ分配する
- 4 予算書について
 - ① 募金が集まった時点で、県更女・しらふじ等の金額を考える
三役（会長・副会長・事務局）で考える 会員から任せるとの声！
 - ② 決まった時点で理事さんに補正予算書として示す 中間報告として
- 5 研修について

人権教育について R3・1～2月頃 地区発表は鳶巣地区
- 6 出雲更生保護女性会60周年記念事業について

50周年のときは資料がなくて苦勞した
・歴史を写真でつづる⇒パワーポイント ・記念誌を作成
次回に実行委員会を立ち上げる メンバーの決定
- 7 その他

出雲更女だよりを年2回発行する

